

# 大内かわら版



大内地区で取組んでいる『地域の教科書』づくりの情報や、地域を巡り出会った感動などを、「大内かわら版」を通して、地域おこし協力隊・阿部倫子（りん）がお伝えします。

※地域おこし協力隊とは・・・人口減少や少子高齢化などの課題を抱える地方に、地域外の人材を新たな地域社会の担い手として定住させ、地域力の維持・強化を図る活動で、総務省の取り組みの一つです。

大内地区に関わる様々な催しや情報をお伝えします（1月～2月中旬）



**大内保育所で「だんごさし」 1/10**  
保育所の畑の先生と、更生保護女性会の皆様に教わりながら、子供達と小正月行事「だんごさし」を体験しました。



**大内みらい屋（若もん会） 1/21**  
地域の未来を考え語り合う、大内と大張の若もん会が待望の合同ミーティング！今後の繋がりに期待大です。



**山屋敷行政区「顔合わせ会」にて1/22**  
中平と合同で進めている老朽化の進む神社の修繕について、地域の大切な遺産を守ろう！と想いを共有。地域の絆を感じました。



**下町「あたご会」新年会 1/27**  
いつもの方言体操や、筋トシ・脳トシの後には、新春ならではのカルタ取り♪皆で大笑いしながら盛り上がりました。



**青葉地区「新年会」にて 1/29**  
今年も皆が元気で暮らせることを祈願するとともに、活気ある地域を皆で作っていきましょう！と気持ちが一つになった会でした。



**美しき不動・地蔵滝の氷瀑**  
神々しさも感じさせる、この季節ならではの不動・地蔵滝の氷瀑。氷の奥に水が流れ、神秘的な世界でした。



**ふゆみずたんぼに白鳥飛来！**  
多様な生態系を保全し、環境に負荷をかけない農法「ふゆみずたんぼ」に白鳥がやってきました！



**はらから福祉会「みずきの森丸森」**  
はらから福祉会「はたまき・手づくりの里」が「みずきの里丸森」と改名され、旧大内中学校に移転。2/1に開所式がありました。



**青葉長寿会&あおば会 2/8**  
今月は、鈴木悦郎さんをお迎えし、地元の歴史・史跡などについての講話。笑いを交えながらの楽しいお話は大好評でした！



## 「地域の教科書」づくりの進捗

移り住んで来た方や、地元の若い世代の皆様にお話を  
お聞きする中で、大内全体の行事やお祭に加えて「各区(全  
12区)ではどんな集まりや行事があるの?」「誰に聞いたら  
良いのだろう?」という声をお聞きします。なかなか  
把握しにくい集まりや行事については「地域の教科書」  
を作成する上でも、ぜひ取り上げたい項目の1つです。

そこで! 区長の皆様をお願いして、各地域の年間  
スケジュールや、総会資料の共有をお願いしました。  
(区長の皆様ご協力ありがとうございました!)

それぞれの違いは特性があり、それが魅力でもありますが、  
初めて聞く人にとっては理解しづらいこともあります。

今後、若者や移住者の皆様の地域行事  
参加率を高めていくためにも教科書の中で、  
未来の担い手達にうまく伝えていきたいですね。

★地域を支える各団体の総会資料なども  
共有いただけたら幸いです。



## 地域の教科書とは!?

大内地区で受け継がれてきた地域ならで  
はの慣わしや、各地域の暮らしの中の  
決まり事・役割、季節行事、地域の魅力・  
特徴などをまとめた冊子です。

住民の皆さん自身が、大内の未来を  
考え作っていくものです。

(大内地区協議会・協力隊がサポート!)

- 移住希望者に、大内の魅力や課題、  
地域の風習など、ありのまま伝えます。
- 移住者に、地域にスムーズに馴染ん  
でもらうための冊子です。
- 地元を離れた大内出身者や、地元の  
若者層にも、地域の良さや継承して  
いきたいことを伝えます。
- 地元住民の皆さんにとっては自分達  
の地域の魅力や価値を改めて見つめ  
直す機会になります。

## 岩手県(遠野市~釜石市~陸前高田市周辺)へまちづくり視察研修 1/18-20

移住政策の充実を図るため「まるもり移住・定住サポートセンター じゅーびたっ」さんや地域の皆様総勢 8 名で岩手  
県に行って参りました。岩手県は、今、注目される民泊や交流・体験事業などの先進地で、今後の活動へ多様な  
ヒントを得ることができました。民泊では皆様興味津々で、丸森町でも可能性を感じる研修となりました。

### 主 な 訪 問 先

#### 認定 NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク

農業体験、民泊など、様々な地域の資源を活かした  
まちづくり、地域交流事業を行う。

#### 一般社団法人遠野みらい創りカレッジ

廃校中学校を活用した施設を拠点に、子供中心の官民  
連携型交流事業を行う。

#### <農家民宿> Agriturismo 大森家

自宅(古民家)を改装した趣ある空間で、郷土料理を  
提供しながら、人と人の触れ合い、会話を楽しむ宿。

#### 一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校

地域の人・暮らし・資源にスポットを当てた体験プロ  
グラム、イベント実施。信頼関係を大切にしながら、  
地元の人が立ち上がり、想いを実現する支援をする。

#### 峠の茶屋

75 歳のお母さんが作るカレーが目玉。その人柄と  
愛情たっぷり料理に、山奥までファンが足を運ぶ場所。

#### 一般社団法人 RCF 釜石チーム

地域の声を拾い、地域の人々に自信をつけてもらい  
ながら、コミュニティの活性化を図る。

#### 釜石市オープンシティ推進室(地方創生室)

活動人口(アクティブな市民)・つながり人口(釜石  
に関わる企業・人)増加が、地域の活力の維持・発展  
に繋がるとし、民泊、国際交流、市民主体プログラム、  
空き家利活用など、多様な取り組みを実施。

#### 住民交流拠点施設「まちや世田米駅」

明治時代の豪邸を改修。地元食材を活かしたレスト  
ランや、子供も大人も住民が気軽に立ち寄れる交流  
スペースなど、住民重視の多目的施設。

#### 一般社団法人マルゴト陸前高田

震災後の交流人口維持を目的に設立。復興の現状を  
「ここだけの学び(価値)」とし企業研修や民泊体験  
ができる教育旅行も受入れる。

地域おこしに関わる方々は「地域住民に、自分達のまちに誇りを持って住み続けてほしい」という共通の想いをお持ちでした。「自分達にとって当たり前暮らしや、自然、文化が外からは輝いて見える。それに気が付き、地元愛が増すことで、地域の魅力が自然に発信されファンが増える。そこに外からの力が加わることで地域の事を自分事に捉える人が増え、まちが元気になっていく」。それを実現する手段の1つが、ワーキングホリデー(金銭の



やり取りが無い労力支援。農業体験など)や民泊。地域交流には多様な取り組みがあり、「自由に無理なく楽しむ」ことを重視し、自分達の生活スタイルに合った受入れ方でいいんだということを再認できました。地域の宝を見つめ直し、それをどう活かし磨いていくか。これから何十年後の地域を考えた時、目指すべき「持続できるまちづくり」とは何か。を改めて考える機会になりました。(詳しく知りたい方は、阿部りんまでご連絡下さい)

